

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第23号

令和8年7月17日（金）発行

■1 学期終業式にあたり（進路指導主事講話）

第1学期終業式において進路指導主事講話として話した内容の概要を掲載します。保護者の皆様もご一読ください。

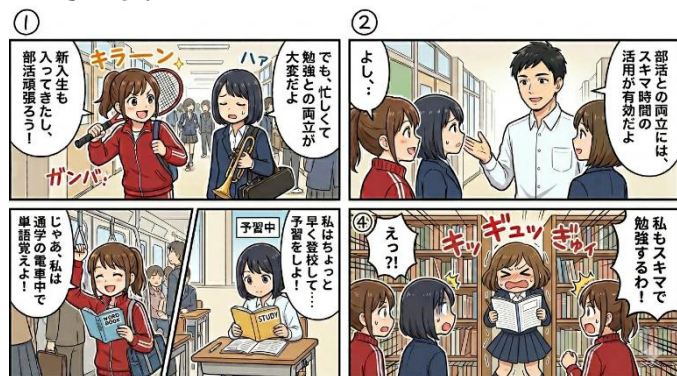
進路指導主事講話「やってるつもりの落とし穴」

～その勉強スタイル、捗っていますか？～

前女の生徒を見ると、本当に勤勉な人が多いと感じます。ですが、「勉強のやり方」という面ではまだまだ改善の余地があると思われます。そこで、今回は、普段の進路日より等で話題に挙げることの多い、「前女スタイル」について、少し見方を変えて話をします。

1. スキマ時間の活用について

スキマ時間にも、「いいスキマ」と「悪いスキマ」があります。細切れの時間がすべて勉強に適した時間帯であるとは限りません。「スキマ」の中でも本当に学習効果がある「スキマ」を見つけることが大事です。「朝早く来て少し予習をしておこう」はOK。だけど、例えば英語の授業の前の10分休みに古文の単語帳を読んでも数分後にはすべて忘れてしまいます。帰宅して夕飯までのちょっとした時間に授業の復習をするのはOK。だけど、部活の合間や登校時歩きながらノートを見ても頭に入るでしょうか？皆さんには、スキマを見つけることを目的にするのではなく、学習に集中できるスキマを上手に活用することを意識して欲しい。スキマを見つけることも大事ですが、「メリハリ」をつけることも同じくらい大事です。



2. 快適な場所で勉強・・・できる？

前女では、校内あちこちで居心地のよい場所を探して勉強するのが日常になっていて、受験成功者の一種の美談のようになっています。ですが、「居心地のよい」というのが実は危険で、例えば廊下で友達と一緒に勉強し

ていて、その時間のほとんどをおしゃべりに費やしている姿を時々見かけます。「居心地がよい」というのを「好き勝手にできる」と誤解して勉強しているとすれば、それこそ「やってるつもりの落とし穴」に陥っている可能性大です。「学校で2時間勉強してきた」と思っている、そのうち1時間は談笑タイムであったとすればそれは実はかなりの時間を無駄に使っていることになります。「居心地のよい」場所で、なおかつ自分自身をしっかりコントロールして学習できるかどうかが成果につながるのだと思います。

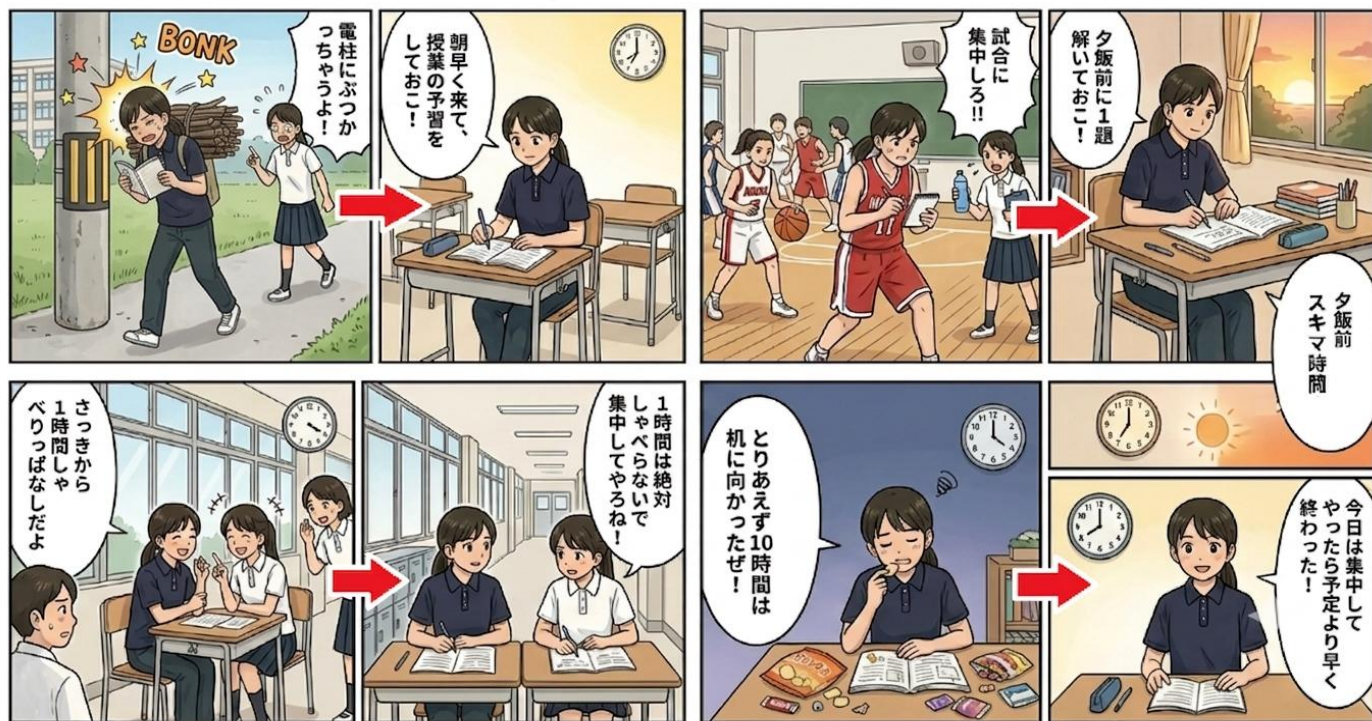


それぞれの項目に共通するのは、「手段と目的を混同しないで欲しい」ということです。夏休みの計画にあたり、「1日10時間勉強しよう」とか、「40日で400時間」とか目標を立てることは大事です。だけど、10時間やるのが目的であってはいけません。あくまで夏休みの学習は、「どれだけのことを身につけることができたか（**どれだけ捗ったか**）」が重要。1日の学習開始に当たり、今日やるべきことをリストアップし、集中して取り組んで気がいたら10時間たった、そんな1日が過ぎたら中身の濃い学習ができたと言えるのではないのでしょうか。せっかくの長い夏休み。長々と勉強だけして終わってしまうのではなく、部活や気分転換なども含めて密度の濃い夏休みにしてほしいと思います。



夏休み中も、先生方もさまざまな場面で相談に乗ってくれたりアドバイスをしてくれるはず。うまくいかない、と思ったら遠慮なくいろいろな先生に相談してみてください。元気に始業式を迎えてくれることを期待しています。

「前女スタイル」も上手に使わないと逆効果



■特に、3年生の皆さんへ



今年の夏休みには期待より不安の方が大きいかもしれません。ですが、あまり欲張らず、時には引き算も実行して達成感が味わえる夏休みにすることが大切です。成長している実感はなかなか味わえないかもしれませんが、前女での学習は「快速列車に乗っている」ようなもの。自分ではそれほど進んだつもりはなくても「前女号」と一緒に乗っているだけで着実に目的地には近づいています。だから、大事なのは「しっかり前に進んでいる」と自覚をもって過ごすこと。前女号は志望校の「最寄駅」までは皆さんをちゃんと運んでくれます。夏休みの目標は一緒に「最寄駅」まで乗って行くこと。もちろん、最寄駅からの道のりは人それぞれ。カーブがあったり急坂だったり。そこを走って行くのかゆっくり歩くか、時には一旦駅まで戻って別の駅を目指すか、それを決めるのは君達自身です。2学期になり、最寄駅から目標地点までしっかり歩みを進めることができるように、この夏は轟木車掌の運転する列車にしっかり乗っていきましょう。

■保護者の皆様へ

今週は各学年とも三者面談を行いました。お忙しいなかご都合をつけてご来校いただきありがとうございます。三者面談で話題になった事柄につきましては、是非ご家庭でも再度話題にさせていただき、お子様と一緒に今後の進路を一緒に考えるきっかけにいただければと思います。また、オープンキャンパスやインターンシップ、資格試験への取り組みなど、将来のことを見つめる機会はたくさんあります（「MJ キャリアプラス」の材料がたくさん落ちています）。夏休みの学習課題以外にもいろいろなことを経験して将来の選択につなげてほしいと願っています。



夏休みは、ご家庭で過ごす時間も多くなると思いますが、自立した生活ができるようになるための飛躍の機会でもあります。お子様のご家庭での様子を温かく、さりげなく見守っていただき、気になる点や心配な点がありましたら遠慮なく担任や進路指導部までお問い合わせください。